

Dragon Slayer

MANUAL

パッケージの中には…

テープカセット・又はROMカートリッジ…………… 1 個
マニュアル…………… 1 冊



目 次

	ページ
はじめに	1
ゲームのスタート方法	2
画面の解説	3
ゲームのすすめ方	5
剣	6
特別なキー	7
ゲームの終り方	8
物資	12
戦闘	13
魔法	15
ドラゴンとクラウン	17
うまくゲームが進まない人のために	18

付録：見開きコマンド一覧表	9-10
---------------	------

はじめに

“ドラゴンスレイヤー”の世界は、無限の可能性を秘めた、新たなる冒険の舞台であるということを、あらかじめ申し上げておきます。

この世界では、プレイヤーが楽しみ方を創造していくことが可能です。つまり、現実の世界の様な、与えられた1つの目的を達成するために努力する、という単一目的指向型の楽しみ方以外にもゲームを楽しむ要素があるのです。

しかし、それは決して難しいことではありません。ほんの少しだけ、この世界でのルールを知るだけでいいのですから…。プレイを続けていくうちに自然と理解されてゆくことと思います。

普通のゲームを楽しみたい、とおっしゃる方も御心配はいりません。ちゃんと目的も用意されています。ただし、その目的に向って進みたいのであれば、その目的を見つける事がまず必要となり、目的を達成した場合には次の新しい世界へ旅立つこともできるでしょう。

“ドラゴンスレイヤー”の世界とは一体どういうゲームなのでしょう。

単なるアクションゲームなのか、アドベンチャーなのか、ロールプレイングなのか、あるいは全く新しいジャンルのゲームなのか？

ただひとつ言えることは、いままでの様々なゲームの要素を持っていながら、どのジャンルにも属さないクロスオーバーなゲームだということです。

お願いがひとつあります。この世界を、たった1、2時間のプレイだけで評価しないで欲しいのです。ゆつくりと繰返し楽しんでいただければ、この世界の広さと深みを、きっと理解していただけると 생각합니다。

“ドラゴンスレイヤー”の世界を楽しくするのはあなたです。

どうぞゆつくりお楽しみください。

ゲームのスタート方法

テープ版

1. コンピューターと各周辺機器が正しく接続されていることを確認し、カセットレコーダー、モニター、本体の電源を入れて下さい。
2. 完全に巻き戻されていることを確認してからテープをカセットレコーダーにセットします。
3. カセットレコーダーのプレイ（再生）ボタンを押し、
BLORD "CAS : ", R
と入力し、リターン・キーを押して下さい。
4. プログラムが読み込まれ、次にデータが読み込まれた後、自動的にゲームがスタートします。

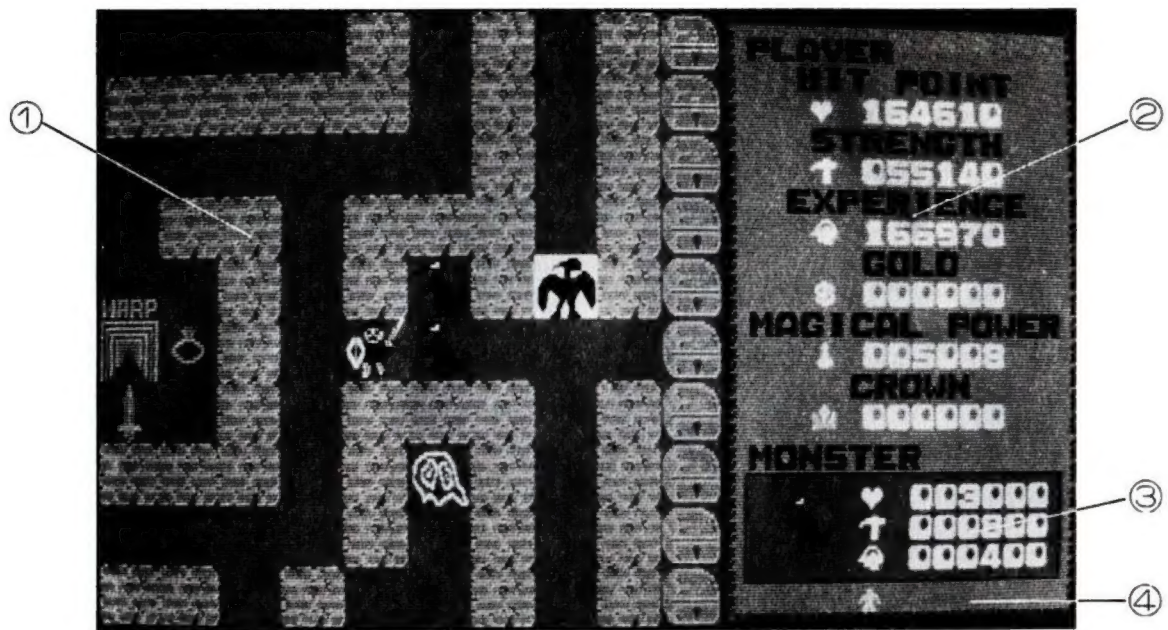
注：なお、ディスクや通信機器等が接続されている場合、作動しないことがあります。

ROM版

1. コンピューターと各周辺機器が正しく接続されていることを確認します。
2. 本体の電源が入っていないことを確認してからカートリッジをマークが手前になるように挿入します。
3. 電源を入れますと自動的にゲームがスタートします。

注：本体の電源を必ず切ってからカートリッジを差し込んで下さい。

画面の解説



(PC-8801用の画面です。機種により多少異なる場合があります。)

この世界には“デタラメ”は全く存在していません。あらゆるものに法則が適用されています。ですから、行きあたりばったりのプレイやデタラメなプレイは全く通用しないのです。

法則さえ見抜ければ、あとはスムーズにゲームが展開するはずです。そのためにも、画面の表示やほんの少しのルールも覚えておきましょう。

①…メイン・スクリーンには、あなたと、あなたをとりまく世界の一部が表示されています。世界の全体を見渡すには、“MAP”という魔法が必要です。

この世界には、あなたを助けてくれるさまざまな物資がおちていますので、それを拾って冒険に役立てて下さい。また、あなたを妨害するモンスター達が次から次へと現れます。中には可愛らしいモンスターもありますが、なかなかの強者ですので慎重に闘わないとやられてしまいます。敵がどの程度の強さなのか知るためには、**[ESC]**キーを押してゲームを一時停止させ、③の情報をじっくり読んで下さい。③には相手のデータが表示されています。

②…敵のデータを知るだけでなく、自分のレベルを知っておく必要があります。
ここにはあなたの力（生命力や攻撃力）や金貨の数などが表示されます。

HIT POINT：あなたの生命力です。0^{ゼロ}になると死んでしまいますので、0になる
（生命力） 前に家に戻って回復させなければなりません。

STRENGTH：あなたの攻撃力です。パワーストーンを家に持ち帰ると攻撃力が増
（攻撃力） 加します。もちろん敵を倒しやすくなります。

EXPERIENCE：経験値は、あなたの防御力を高め、魔法を使えるようにします。敵
（経験値） を倒すごとに増えてゆきます。

G O L D：金貨を家に持ち帰ると、生命力を増強させることができます。
（金貨）

M A G I C：魔法のツボを拾うと増え、魔法を使うごとに消費されます。
（魔 力） 魔力がなくなると魔法が使えなくなります。

C R O W N：手に入れた王冠の数です。
（王 冠）

③…戦闘中のモンスターに関するデータが表示されます。

④…人のマークが左から右へ動き、時間の流れを示します。プレイは、あなたの行動
→モンスターの行動→あなたの行動の順に進行します。あなたが何もしなくても
マークが右端に消えるとモンスターの行動が行なわれます。

ゲームのすすめ方

ゲームがスタートしましたら、ここからは未知の世界です。

次の要領をよく読んで、さあ、冒険を開始してください。

コントロール

移動：カーソル・キーの↑、↓、←、→で、上下左右に移動できます。

壁とモンスター以外のものの上は全て通過することができます。

経験値が3万点以上あれば、各キーを2つ同時に押すことにより斜めの移動が可能になります。

攻撃：方向キーで移動しようとする方向にモンスター（敵）がいる場合、そのモンスターに対する攻撃となります。斜めの移動が可能な場合、斜めへの攻撃もできます。

物を拾う、置く、開く

拾う：拾いたい物の上に重なりスペース・バーを押して下さい。

プレイヤーの右上に持ち物が表示されているときは、何も拾うことができません。

置く：何もない所でスペース・バーを押すと持ち物を置くことができます。

開く：鍵を持って宝箱に重なりスペース・バーを押すと、宝箱が開いて宝物が現れます。（もちろん、鍵を置かないとその宝物は拾えません。）

剣

プレイヤーは、まず最初に剣を入手することから始めなくてはなりません。剣がなくては何ひとつできないからです。

剣を入手する方法はいろいろありますが、一番安全な方法は次の2つだと思われます。しかし安全とはいってもプレイヤーの不注意による事故だけは防げません。くれぐれも行動は慎重に。

迷宮で入手：プレイヤーは迷宮を抜ける為に思わず頭を抱え込んでしまうでしょう。しかし、この迷宮は綿密に設計された空間なのです。もし、プレイヤーが魔法を使えるのであれば迷宮とて普通の大地同様ですが、始めのうちは魔法は使えませんから、別に手段を考えなくてはなりません。
例えば、指輪を使ってみるとか……。

歩き回って入手：とは言え、むやみやたらに歩き回るのは考えものです。この世界には魑魅魍魎ちみもうりょう あぶが溢れ、丸腰で歩くことは大変危険です。こんな時には、まず十字架を入手し、それを掲げながら歩くと良いでしょう。いつの世も、妖怪は十字架に弱いものなのです。

特別なキー

CTRL + **STOP** : もうどうしようもない場合、文字通り身動きとれなくなった場合に、その面の最初からやりなおす為のキーです。

CTRL キーと **STOP** キーを同時に押して下さい。その面の最初の画面に戻り、ゲームを再開することができます。

ESC : **ESC** キーを押すと、ゲームが一時停止します。
停止中は画面右下のインジケーターが停止しますので、ゲームが停止中かどうか知ることができます。

SELECT : ゲーム中、テーマ曲又は効果音を消したい時、**SELECT** キーを押して下さい。曲の途中であっても音が消えます。
再び音を出したい時は、もう一度 **SELECT** キーを押して下さい。

ゲームの終了方

一面クリアしますと、画面にパスワード（PASSWORD）が表示されます。

次の世界へ旅立つ為に必要な言葉ですから忘れないで置いて下さい。

パスワードを知っている場合、再びゲームを始めた時、その面は即時終了し、次の面に移ります。パスワード入力の手順は次の通りです。

1. ゲームのスタート方法に従って、プログラムを立ちあげて下さい。
2. 魔法のつぼを拾い、リターン・キーを押します。
3. 魔法のメニューが出ますので、スペース・バーで“PASSWORD”を選択しリターン・キーを押します。
4. パスワードを入力して下さい。

パスワードが正解の場合……その面が終り、次の面に移ります。

パスワードがちがう場合……そのままの面でゲームが続行されます。

ドラゴンスレイヤー

A new type real time role-playing game

SPACE BAR

物をひろう又は置く

SELECT

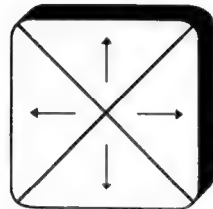
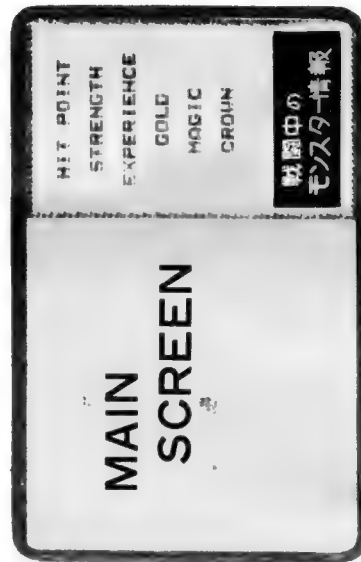
音を消す

ESC

一時停止

CTRL + STOP

自殺



方向 KEY

経験値が3万点以上になると斜めへ移動できるようにになります。



RETURNで実行

SPACE BAR

スペースバーで選び

HOUSE 大切な、あなたの家です。生命力の回復、攻撃力の増強等ここで行います。

GOLD 家に持ち帰る事によって生命力を増す事ができます。同時にいくつも持てます。

指輪 これを持っていれば、壁を移動することが出来ます。家を動かし引越しすることも出来ます。障害物がある場合は、その方向には移動できません。

剣 敵と闘うための武器です。剣がなければ、攻撃力は無に等しく、敵と闘うには、何はあいてもこれを手に入れることが先決です。

宝箱 いろいろなものが入っている宝の箱です。

鍵 宝箱を開ける鍵です。これを持ち、宝箱の上でスペース・バーを押せば、宝箱は開きます。

魔法のツボ これがないと、魔法が使えません。

パワーストーン これを家に持ち帰る事によって攻撃力を増強します。

十字架 愛の十字架です。これを持つと、争いを避けられます。

プレイヤーの右上に持ち物が表示されているときは何も拾うことができません。

HIT POINT (生命力) あなたの生命力です。0になると死亡します。家に帰れば回復させることができます。

STRENGTH (攻撃力) 腕力のことです。パワーストーンも家に持ち帰ると増えます。勿論、それだけ敵を倒し弱くなります。

EXPERIENCE (経験値) 経験値は、あなたの防御力を高め、魔法を使えるようになります。敵を倒すことに増えていきます。

GOLD (金貨) 金貨を家に持ち帰ると、生命力を増強させることができます。

MAGIC (魔力) 魔法を使う時に、消費します。なくなると、魔法が使えなくなります。

CROWN (王冠) 家に持ち帰った王冠の数です。

リターンキーを押すと、魔法のメニューが現れます。使用可能な魔法は、経験値によって決められます。キーを直接押すことによっても実行できます。

	必要経験値
JUMP テレポートします。しかし、どこへ行くかはわかりません。	1000
RETURN どこからでも一瞬にして、家に帰ることが出来ます。	2000
MAP 自分の周辺の地図を表示します。	3000
BREAK 指定方向の壁を壊します。(魔力を消費しません。)	5000
KICK 指定方向の壁を、けつ飛ばします。(魔力を消費しません。但し、敵に当たると敵が死に、魔力がへります。)	10000
FREEZE 自分の周りにいる敵を凍らせてしまいます。	15000
FLASH 閃光を放ち、一定時間、敵の動きを止められます。	25000
FLY 一定時間、鳥に変身し、飛ぶことができます。	50000

A new type real time role-playing game



物 資

H O U S E : 大切な、あなたの家です。長旅に疲れたら、家に戻って生命力の回復、攻撃力の増強などを行いましょう。

G O L D : 家に持ち帰ることによって生命力を増すことができます。同時にいくつでも持てます。

指 輪 : これを持っていると、壁を動かしたり家を移動させたりすることができます。障害物がある場合、その方向への移動はできません。

剣 : 敵と闘うための武器です。剣がなければ攻撃力は無に等しく、敵と闘うには何はあいてもこれを手に入れることが先決です。

宝 箱 : いろいろなものが入っている宝の箱です。

鍵 : 宝箱を開ける鍵です。これを持ち、宝箱の上でスペース・バーを押すと宝箱が開きます。

魔法のツボ : このツボを取ると魔法が使えます。使用可能な魔法は経験値によって決まりますが、ツボをもっていないと使えません。

パワーストーン : 家に持ち帰ることによって攻撃力を増強します。

十 字 架 : 愛の十字架です。これを持つと争いを避けられます。

戦 闘

モンスターを倒すこと自体は、どんなやり方でもできるでしょう。

しかし、より少ない損害でより効率よく倒すには、戦術が必要とされます。

敵の能力を知る : モンスターの能力と戦闘結果の関係を分析することは、とても有意義なことです。戦闘が起きたらまず一時停止させて、じっくり情報を読みましょう。

敵の行動を知る : モンスターの行動にも、ある法則が適用されています。その法則を知れば、敵の行動を予測できるはずです。

退路を確保する : 勝ち目のない敵に出会ったら逃げるに限ります。余計な損害を受けないうちに逃げるためには、常に退路を確保しておいた方が良いでしょう。

家の回りで戦闘を展開する : 安心できる方法ですがモンスターに乗っ取られないように注意して下さい。家は移動できるので、戦地の近くへ移動させ、いわば前戦基地の代りにするわけです。

魔法を戦闘に活用する : 奇襲攻撃、大量抹殺、モンスター狩りなどが可能となります。
詳しくは魔法の項をごらん下さい。

斜め行動を活用 : 経験値が3万点を超えると、斜めへの行動（全部で8方向）が可能になります。斜めへの行動は戦闘においてもプレイヤーを有利にすることでしょう。

封 鎖 : あまり戦いたくない時……そんな時にはモンスターの進攻を防ぐ手段を考えてみましょう。例えば、壁で仕切るとか……。

誘い出す : モンスターの行動パターンを知れば、これは難しいことはありません。もし多数の敵を誘い出してプレイヤーの姿がふっと消えてしまったら？

プレイヤーが戦略をたて、それに従って戦術を展開すると、これらの戦術はより効果的になります。戦略をたてることもゲームを面白くする要素となるでしょう。

なるべくなら、音は消さない方が良いと思います。

プレイヤーに差し迫る危険は画面だけではなく、音によっても知らされます。それは実に不注意による失敗を未然に防いでくれるものです。

魔法

使用可能な魔法は、プレイヤーの経験値によって決められます。

プレイヤーの中には、魔法が使えるようになっているのに、それに気付かないでプレイを続けている方が割合と多くおられます。絶対に魔法を使わなければならない、ということはありませんが、魔法を使うことでプレイが非常に効率良く、そしてトリッキーなものになります。せっかく使えるのですから十分に活用して下さい。

世界を知る

“MAP” や “FLY” は、世界を見渡すことを可能にする魔法です。世界を見ることが、視野を広く、そしていろいろ考える為の良い材料になると思います。

ワナにはまったとき

ワナ、といっても、地面に落とし穴が掘ってあるわけではありません。敵に囲まれてしまったり、追いつめられてしまっても泣き寝入りすることはありません。そんなとき “JUMP” や “RETURN” や “BREAK” などがきっと役にたつでしょう。

壁を砲弾に

“KICK”こそ、奇襲・長距離攻撃にもってこいの魔法です。何しろ壁を砲弾にしまうのですから。もちろん、どんなモンスターでも一撃必殺まちがいなしです。

モンスターを動けなくする

“FLASH” “FREEZE” などはモンスターの動きを封じます。手も足も出せずにただ立ちつくす敵をなぎ倒してゆくのはまさに快感そのものです。

御注意

カナキーがONになっていると、使えるはずの魔法が使えなくなってしまう。必ずOFFの状態にしておきましょう。

リターン・キーを押すと、魔法のメニューが現れます。

スペース・バーで選択し、リターン・キーで実行して下さい。

また、各魔法に対応しているキーを直接押すことによっても実行できます。

キー		必要経験値
[J]	J U M P : テレポートする魔法です。しかし、どこへ行くか全くわかりません。	1000
[R]	R E T U R N : どこからでも一瞬にして家に帰ることができます。	2000
[M]	M A P : 自分の周辺の地図を表示します。	3000
[C]	B R E A K : 指定方向の壁を壊します。魔力は消費しません。	5000
[X]	K I C K : 指定方向の壁をけつとばします。壁が敵に当たり、死んだ場合のみ魔力が消費されます。	10000
[Z]	F R E E Z E : 自分の回りにいる敵を瞬時に凍らせます。敵は身動きできなくなります。	15000
[L]	F L A S H : 閃光を放ち、一定時間、敵の動きを止めます。	25000
[F]	F L Y : 一定時間、鳥に変身して飛ぶことができます。	50000

魔法を使うたびに、魔力（MAGIC）が消費されます。

魔力がなくなると魔法が使えなくなりますので、魔法のツボを集めて下さい。

ドラゴンとクラウン

伝説の四つの王冠を持ち帰った勇者は、新たなる次の世界の冒険に旅立てる、という言い伝えがあります。ただし、新世界が楽園かどうか定かではなく、誰一人知る者はいないのです。

四つの王冠はそれぞれ四つの箱におさめられ、三つの首と恐ろしい力を持った“ドラゴン”に守られています。王冠を手中に収めるには、まずこの“ドラゴン”を倒さなければならぬのです。

“ドラゴン”をみつけたからといって、それ、とばかりに突っこんではいけません。相手の力を知り、相応の力と経験を身に付けて、十分に戦略をたててから敵にいどんでください。

うまくゲームが進まない人のために

効率の悪いプレイは、別にそれ自体悪いというわけではありません。

しかし「だれる」とか「うんざりする」といった要因は、効率の悪いプレイによって出てくるものなのです。効率良いプレイ、というのは何もキーを押しっぱなしにすることではありません。物資をうまく使いこなし、戦略をたてることによって無駄な行動をとらずに楽しくゲームを進めることができるでしょう。

物資の調達

あなたはまだ長い道のりを歩いて、パワーストーンを家に持ち帰っているのですか？もしそうだとしたら、それこそ時間の浪費です。家を移動させることができるのでから、家を物のそばに引越せば、何もさまよい歩かなくて済むのです。

モンスターとの戦闘

まだ、1対1、差してモンスターと戦っていませんか？

ゲームを始めたばかりならいざ知らず、いつまでもそのままでは困りものです。モンスターを一網打尽にする方法はどうでしょう。例えば、生簀いけすを作ってモンスターが増えたところで“FLASH”！増えるまで昼寝でもしていればいいわけです。魔法を有効に作うのも戦術のひとつです。

ワープ

この世界の中には最低4つのワープゾーンがあります。ワープゾーンに入ると瞬時にワープします。

死神

プレイヤーが不幸にして死神につきまとわれた場合、うつとうしいばかりでなく、魔法が使えなくなります。邪魔な死神を追い払うには十字架の上か家を通り抜けるとよいでしょう。

The first part of the paper discusses the importance of understanding the cultural context of the research. It highlights the need for researchers to be sensitive to the values and beliefs of the communities they are studying. This is particularly important in the field of education, where cultural differences can significantly impact learning outcomes.

The second part of the paper focuses on the methodology used in the study. It describes the process of selecting participants, collecting data, and analyzing the results. The authors emphasize the importance of using a mixed-methods approach to gain a comprehensive understanding of the research topic.

The third part of the paper presents the findings of the study. It discusses the results of the quantitative data analysis and the insights gained from the qualitative interviews. The authors conclude that there are significant differences in learning outcomes between the two groups, and these differences can be attributed to cultural factors.

The final part of the paper offers recommendations for future research and practice. It suggests that educators should be aware of the cultural context of their students and tailor their teaching methods accordingly. Additionally, it calls for further research to explore the underlying reasons for the observed differences.